2026年11月12日

各　位

会 社 名　　株式会社ロゴスホールディングス
代表者名　　代表取締役社長　　池田 雄一
（コード番号：205A　東証グロース市場）
問合せ先　　常務取締役 経理部部長　岩永 武也
(E-mail　ir@logos-holdings.jp)

財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結について

当社及び当社の連結子会社であるクラージュホーム株式会社（以下、「クラージュホーム」という。）は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

１．財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行う理由

2026年７月16日付「アエラホームへの民事再生支援に関するスポンサー契約締結のお知らせ」及び2026年10月１日付「(開示事項の経過）アエラホームへの民事再生支援を目的としたスポンサー契約に基づく会社分割の効力発生による事業承継の完了、並びに子会社の増資（特定子会社の異動）及び商号変更に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、2026年７月16日付で東京地方裁判所に民事再生手続開始の申立てを行ったアエラホーム株式会社（以下、「アエラホーム」という。）とのスポンサー契約（以下、「本スポンサー契約」という。）に基づき、当社の連結子会社であるクラージュホーム株式会社（旧商号：LHD-1）を承継会社とする吸収分割により、2026年10月１日を効力発生日として、アエラホーム営む注文住宅事業等（リフォーム、FC事業を除く。以下、「本事業」という。）に関する資産、負債、契約及び雇用の承継が完了しております。

本財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結は、本事業の承継に必要な取得資金及びこれに付随する諸費用､並びにクラージュホームにおける事業運営に必要な運転資金(同使途に充てるための転貸資金を含む)の資金調達を目的としております。

２．当社の内容

（１）金銭消費貸借契約の内容

①	金銭消費貸借契約の締結日	2026年11月13日（予定）
②	相手方の属性	株式会社三菱UFJ銀行
③	債務の元本	500百万円
④	弁済期限	2031年11月13日
⑤	担保の内容	無担保

（２）金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

① 借入人は、2027年５月決算期を初回とする各年度決算期の末日における借入人の連結の貸借対照表において、純資産の部の合計額を、2026年５月決算期の年度決算期の末日における純資産の部の合計額又は前年度決算期の末日における純資産の部の合計額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。

② 借入人は、2027年５月決算期を初回とする各年度決算の末日における借入人の連結の損益計算書において、営業損益の金額を０円以上に維持すること。

３．当社の子会社の内容

（１）当該子会社の概要

①	名　　所	クラージュホーム株式会社
②	所　在　地	山梨県中巨摩郡昭和町西条 122
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長　中島秀行
④	事　業　内　容	建築工事の請負、設計、施工及び監理業務等
⑤	資　本　金	100 百万円

（２）金銭消費貸借契約の内容

①	金銭消費貸借契約の締　結　日	2026 年 11 月 13 日（予定）
②	相手方の属性	株式会社きらぼし銀行
③	債務の元本	500 百万円
④	弁　済　期　限	2031 年 11 月 30 日
⑤	担保の内容	無担保
⑥	連帯保証人	株式会社ロゴスホールディングス

（３）金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

① 2029 年５月期以降（2029 年５月期を含む。）の各決算期末における借入人単体の損益計算書上の営業損益が赤字となる状態を生じさせないこと。但し、２回連続で違反した場合に限り、抵触したものとみなす。なお、初回は 2028 年５月期及び 2029 年５月期の当該営業損益にて判定を行う。

② 2028 年５月期以降（2028 年５月期を含む。）の各決算期末における保証人を頂点とする連結財務諸表（以下、「連結」という。）における損益計算書上の営業損益が赤字となる状態を生じさせないこと。

③ 2027 年５月期以降（2027 年５月期含む。）の各決算期末の連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を、2026 年５月期又は直前の各決算期末の連結貸借対照表上の純資産の部の金額のいずれか大きい金額の 75%以上に維持すること。

４．今後の見通し

本件が当社グループの 2027 年５月期の連結業績に与える影響については、現在精査中であります。今後の業績に与える影響について開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上